

議会だより

Vol. 183
2015.7.24



躍動!!



6月の
定例会

2 町の進むべき道
災害復興計画(第二次)を可決

6 ズバリ!! 町政を問う
6 議員が質問

16 特集
管理型処分場に対する国の方針を問う

22 シリーズ 復興へのあゆみ
step3

町の進むべき道

災害復興計画を可決

第二次

どの道を選んでも、ふるさとに誇りを感じ、富岡のつながりを保ち続けられる町
これから加わる仲間も居心地よく親しめる地域をめざして

【基本理念1】

町民一人ひとりの“心”の復興

【基本理念2】

町民の心をつなぐ“ふるさと富岡”の復興

基本方針1 生活再建

個々によりそう暮らしの支援
『町民一人ひとりを支える心身両面サポート』

基本方針2 町内の復旧・復興

段階的かつ着実に進める
『暮らし・仕事・地域の復興』

基本方針3 絆づくり

町や町民とのつながりを守り、育む
『将来にわたる町・町民との関係づくり』

基本方針4 情報発信

町民それぞれの立場に対応する
『正しく分かりやすい情報の発信』

基本方針5 実行体制づくり

復興に向けた
『みんなの支えあいと役割分担』

定例会のあらまし

平成27年6月定例会は6月16日から17日まで2日間の会期で開催しました。
災害復興計画(第二次)の策定案件や災害危険区域に関する条例の制定案件、平成27年度会計の補正予算案件など計17件の議案を慎重に審議し、全て原案のとおり可決しました。
一般質問では6議員が登壇し、今後直面する課題や町政運営のあり方について問いただしました。

復興計画ができるまで

災害復興計画(第二次)は、平成26年8月から公募で選ばれた町民30名と富岡町職員26名で、計9回100時間を超える議論を重ねて作られたものです。
町民の熱い思いのこもったこの計画に、議会で議論された内容や多くの町民のパブリックコメントを反映させ、6月に完成しました。



熱い議論が交わされた検討委員会



サッカー場

交流の
拠点となる

答 企画課長補佐
国から各町村には広域的な連携を取りながら、重要な施設を整備したいという回答をいただいています。
町としてはあせることなく、意義のある施設の誘致について検討を重ねていきたいと考えています。

問 イノベーション
コースト構想に対する
国の考えと町の考えは
リンクしているか。

答 企画課長補佐

問 インフラ復旧、拠点整備の中に、スポーツ施設の活用が入るのは違和感があるが。

答 企画課長

生活するための拠点、交流するための拠点として考えた時に、スポーツ施設は必ず必要なものだと考えますので、拠点整備の中に組み入れました。



体育館



テニスコート

問 基本理念の中に「原発に頼らない町」と明記するべきでは。

答 企画課長

基本理念は、どなたからも受け入れられる、わかりやすいものにさせていただきました。
より具体的な重点プロジェクトとして「原

答 企画課長
今ある桜を守りつつ、育てていくという気持ちをうまく表現したいと考えています。

問 本計画を基に策定される町の政策に対して、今後検討委員会の委員が何らかの形で関わられるか。

答 企画課長

検討委員会の委員の方には、事業の進行管理に関わっていただきたいと考えています。

問 富岡町のシンボルである桜並木を保全するだけではなく、発展的な将来像を復興計画の中で明確に表現するべきでは。

答 富岡町のシンボルである桜並木を保全するだけではなく、発展的な将来像を復興計画の中で明確に表現するべきでは。

子力に依存しない新たなエネルギーの創出」を町として推進していきます。

議員が切り込む!!

質疑応答



一般会計 補正予算 3571万円を増額

《総額は131億651万円に》

- 補正のあった主な事業は以下のとおりです。
- ・連絡所兼休憩室管理運営費 1100万円増
国道6号線沿い(回転すし店舗駐車場)に新たに開所する連絡所兼休憩室の建築工事費
 - ・観光振興事業費 413万円増
町のシンボルとなるキャラクターの制作や特産品の発掘などの業務委託料
 - ・マイナンバー制度導入業務委託料 320万円増
制度の啓発、管理者・担当者へのセキュリティ講習会、町民への広報等を行うための委託料

町政報告要旨

私は、震災後5年目を迎えた今年度を「ふるさと富岡町の復興を目に見える形で具現化する年」にしたいと考えております。

【復興計画】復興の羅針盤となる富岡町災害復興計画(第二次)は、検討委員の皆様から将来の町の姿はもとより、本格復興に向けた様々な事業施策、アイデアなどをたくさん詰め込んでいただきました。

策定後は、この計画をもって町の復旧・復興を更に加速度的に押し進めてまいります。

【福島復興指針】また、先般閣議決定された「福島復興指針」

の改訂については、復合災害に苦しむ原発被災地の復興を、より加速していくとする政府の強い姿勢が表れていると感じる一方で、解除時期や賠償等については、「決定ありき」となってはならないものと考えております。

【財源の確保】復興財源の確保についても、先月末、復興

の浜田副大臣との意見交換の中で、原発被災地においては、これから本格復興の集中期間であることを改めて申し上げます。

今後とも、被害の実態や復旧・復興の進捗等に即した柔軟かつ誠意ある対応、そして復興財源の確保等、国に強く求めてまいります。

【フクシマエコテック クリーンセンター】国が施設を国有化する方針を示したこと等については、一定の評価はするものの、現時

点の対応方策だけをもち、直ちに、町民の皆様の不安などが払拭されるものではないと考えております。

今後、国に行政区域や住民説明会で説明をいただき、町民の皆様のご意見やお考えを改めてお聞きした上で、国の対応を十分見極めたいと考えております。

【今後について】本町を取り巻く状況はめまぐるしく変化しておりますが、ふるさとの復興の実現に向け、非常に重要な時期にあります。

この歩みを止めることなく、これまで推し進めてきた各種施策を更に発展させながら、一日も早く「ふるさと富岡」を取り戻すことのできるよう、全力で取り組んでまいります。



町政報告をする宮本町長

決まりました

こんなことが

推薦

農業委員会委員 3人を推薦



任期満了による農業委員会委員の改選に伴い、議会より選任委員3名を推薦しました。

条例制定

富岡町災害危険区域に関する条例を制定

自然災害による危険が特に著しい区域を災害危険区域として指定し、区域内の建築物に建築制限を行うことで、地域住民の安全を確保することを目的としています。

(全会一致・原案可決)

税条例改正

ふるさと納税のワンストップ特例

確定申告が不要な給与所得者がふるさと納税を行う場合、確定申告せずに控除が受けられる仕組みを創設しました。

(全会一致・原案可決)

軽自動車税のグリーン化特例

平成27年度中に新規取得した一定の環境性能を有する軽自動車等について、平成28年度の軽自動車税を減免する規定を定めました。

(全会一致・原案可決)



JR線路より東側を指定

表彰

自治功労表彰

6月5日に福島県町村議会議長会から、塚野芳美議長及び渡辺三男議員が自治功労表彰を受けました。



表彰を受ける渡辺三男議員

6月定例会

質疑あれこれ??

問 マイナンバー制度を導入する上でセキュリティに問題はなにか。

答 住民課長 国・県・町をローカルネットワークで結び、外部とつながらない環境で利用するため、安全性は保たれると考えます。

問 富岡漁港の今後のあり方は。

答 産業振興課長 漁業者からは、漁港を観光拠点や情報発信基地として利用するなど、富岡漁港ならではの役割を果たしていきたいとの意見をいただいています。

問 利用者が少ない復興支援バスの運行ルートを見直しは。

答 生活支援課長 各仮設住宅の自治会長等の意見を聞きながら、利用しやすい体制や時間帯を検討します。

問 水産物や海水の放射能濃度を町としてしっかり把握するために、調査を地元の漁業者に依頼しては。

答 産業振興課長 漁業者とも協議した上で、検討していきたいと考えます。



三瓶 一郎 議員

問 上水道事業に無駄が多いのでは

答 適切かつ効果的な水道事業の推進に努める



櫛葉町で業務を再開

問 双葉地方水道企業団におけるこれまでの配水計画や配水池の工事、配水管理などについて、内容や手法等無駄が多いと考えるが、企業団の理事者として企業団に意見する考えはあるか。

答 町長 上水道事業の施行については、これまで計画の策定や予算配分等について双葉地方水道企業団と協議、調整などを図った上で実施してきました。町としては、今後とも改善すべき点があれば改善し、企業団に対しても町としての意見をしっかりと伝え、さらなる協議、調整を図るなど、引き続き適切かつ効果的な水道事業の推進に努めていきたいと考えています。

問 議会、委員会からの少数意見に対して、スピード感を持って対応するのかが、どのように対応するのか

答 町長 議会、委員会を問わず、議員の発言は、決して少数意見などとは見ておらず、全て民意を代表する貴重な意見であると真摯に受けとめています。いただいた意見については、担当課のみの対応でなく、全庁的に情報を共有し、解決に向けた方策の検討や早期実現に向けた取り組みや事業化を積極的に進めています。



各課の横断的な情報共有に努めている

問 議会、委員会からの少数意見に対して、スピード感を持って対応するのかが、どのように対応するのか

答 町長 議会、委員会からの少数意見に対しては、また、復興推進会議において、課題解決に向けての目的やリスクの検討、意思決定から進捗管理などを行います。今後とも議員や町民の皆様からいただいた意見に対して、さらなるスピード感を持って取り組んでいきたいと考えています。

一般質問

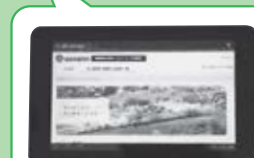
一般質問は、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に問題点をただし、所信の表明を求めて政治姿勢を明らかにするものです。

スバリ!! 町政を問う

6議員が質問

6月定例会の一般質問に6議員が登壇し、町の対応や考えなどを問いました。この紙面では、質問した順に質疑応答の要点をお知らせします。

- 1 三瓶 一郎 議員** 7
 - 1. 双葉地方水道企業団について
 - 2. 議会での少数意見について
- 2 宇佐神 幸一 議員** 8
 - 1. 今後、帰町した町民、特に高齢者に対する生活環境に係る整備構想について
 - 2. 町内での中高年齢層が活躍できる機会の創出について
- 3 安藤 正純 議員** 9
 - 1. 町民帰還について
 - 2. 原子力に頼らない町宣言について
- 4 遠藤 一善 議員** 10
 - 1. 富岡町HOPE計画について
 - 2. 地域文化財(建造物)について
- 5 早川 恒久 議員** 11
 - 1. 復興拠点整備事業について
 - 2. 町内での事業再開について
- 6 山本 育男 議員** 12
 - 1. 復興加速化第5次提言について



動画配信中!



早川 恒久 議員

問 復興拠点整備の考えは

答 商業・住宅・医療の立地を進める

進めていく考えです。なお、商工会を通じて地元商業者に出店に係る意向調査を実施しています。

問 町に帰還する上で欠かせない商業施設について、町はどこに、どのような形での整備を考えているか。
答 町長 町内の復興拠点づくりの一環として公設型の復興商業施設の整備を計画しており、8月末を工期とした市場及び適地に関する調査を実施しています。今後はこの調査結果に基づき、当該施設の用地や規模などを決定し、商工会など関係機関と連携を密にしなが、運営内容などの詳細についてさらなる協議を進めていく考えです。

問 町内の災害公営住宅の整備については、岡内地区に集約すべきと考えるが、既存の町営住宅についてはいずれも再活用するのかが、現在の状況は。
答 町長 災害公営住宅の整備については、上下水道などの既存インフラを最大限活用した早期整備と復興拠点の形成を図るため、第二次復興計画において中核拠点到位置づけた岡内、曲田地区に整備、集約する方向性を示しています。また、既存の町営住宅は、半壊以上の罹災判定がされた建物の取り壊しを環境省に申請する予定です。

問 町内の復興拠点に、さまざまな施設を整備する予定と聞いている。あらかじめ場所を選定しておく必要があると考えるが、現在の状況は。
答 町長 復興拠点に整備する施設は、暮らしやすさや将来的な町づくりを考えると重要な要素であると考えています。復興拠点の整備については、第二次復興計画策定と並行して、暮らしに必要な商業、住宅、医療などについて立地の選定を含めた準備や調整を進めているところです。また、今後の拠点整備の候補地となり得る場所については、財源の確保も含め対応方策を検討します。



地震で大きな被害を受けた富岡町商店街

問 町内での事業再開者に対する支援策はニーズに合致した補助制度の見直しを行う
答 町長 町では、独自の事業補助金を創設していますが、採択要件の制約などにより利用率が振るわない状況です。今後はニーズに合致した内容になるよう、あわせて国、県などが実施する各種支援制度については商工会とも連携し、情報収集に努め、ホームページ、SNSなどを活用し、より一層周知したいと考えます。



遠藤 一善 議員

問 HOPE計画を継承したまちづくりを

答 本質的な要素を取り入れ町内の再生に取り組む

問 平成5年に「100年の未来に向けての人づくりまちづくり」を基本テーマとし策定された富岡町HOPE計画を継承したまちづくりをすべきと考えるが、町の考えは。
答 町長 富岡町HOPE計画は、良好な住宅地整備や緑化推進、福祉の充実などによって暮らしやすく、特色ある町づくりを目指し策定した計画です。



HOPE計画に基づいて建てられた王塚町営住宅

問 HOPE計画の本質的な要素については、これまでもさまざまな計画などに取り入れるなど、暮らしやすく潤いのある町づくりを進めており、第二次復興計画においても重点プロジェクトや土地利用計画に継承されています。今後もHOPE計画の本質的な要素を意識し取り入れながら、復興中核拠点などの整備を初めとした町内の再生に取り組んでいきます。

問 HOPE計画とは
答 企画課長 これから町内で整備する災害公営住宅については、大菅団地や王塚第3団地のような形のものを参考にしながら考えていきます。平成5年に「花と緑に包まれて、豊かな暮らしが満喫できる、未来に羽ばたく富岡町、100年の未来に向けての人づくりまちづくり」を基本テーマとして策定された計画。計画の中では、住まい、暮らしなどの基本方針、基本施策が示されている。



大原本店(中央1丁目)

問 地域文化財の登録を
答 文化財保護審議会を再開
問 町の伝承に重要な建造物の登録を。
答 教育長 建造物等の保全、管理については、文化財の保存及び活用を調査、審議する諮問機関である文化財保護審議会を再開します。その後、所有者の方と十分に相談し、町行政の一環としてできる範囲で適切な文化財保護と地域の歴史文化の継続、そして町内の伝統的な建造物についての管理と活用の両面を視野に入れ、検討を進めていきます。



山本 育男 議員

問 第5次提言の評価は

答 復興加速への決意が感じられる

問 第5次提言が閣議決定されたが、町の評価は。

答 町長 この提言は、復興加速化のための政府方針となりました。廃炉、汚染水処理のため、生活再建に向けた集中的支援、十分な財源確保など、多岐にわたる復興を加速させる政府の決意が感じられる内容となっております。

問 町の対応は。

答 町長 町の状況、状態に基づく十分な意見調整や住民への丁寧な説明を国に求めていきます。

あわせて被災地を一律に扱うことなく、実情に見合った柔軟な対応を求めています。

ります。

問 居住制限区域までは、平成28年度末までに避難指示を解除するとしている。段階的に行うべきと考えるが。

答 企画課長 避難指示解除には、ライフラインの復旧状況、生活関連サービス、生活関連サービスの復旧・整備の他、現地の放射線量の状態が必要な要件と考えます。除染の効果を検証し、検討・判断します。

問 今後の新たな支援策は、賠償の終期が示されたが、その後の支援策は。

答 産業振興課長 精神的賠償については、支援策は示されていませんが、実態に合ったものとなるよう要望しています。営業の支援策については、事業者への聞き取り・訪問など相談支援を行い、あわせて、風評被害・販路・人材確保、事業、生業の再建、自立や働く場という項目で支援をするとあります。具体的にはまだ出ていませんが期待をしています。

問 今後の新たな支援策は、具体的に示されていない

答 副町長 富岡は復興の緒に付いたばかりで、避難指示を解除したところ、解除しようとしているところ、早く状況が違います。早くは、平成29年4月には解除できるように整備をしています。

＜東日本大震災 復興加速化のための第5次提言＞ ～被災者の方々が希望を持って前進していくために～

- I. 原子力事故災害被災地域の再生に向けて
～復旧から復興への橋渡し～
- II. 地震・津波被災地域の早期復興完了に向けて
～住宅再建・復興まちづくりの加速化～
- III. 共通課題
 - (1) 仮設住宅の供与期間に係る対応
 - (2) 被災自治体における人手不足への対応
 - (3) 集中復興期間後(「復興・創生期間」)の復興事業
 - (4) 集中復興期間後(「復興・創生期間」)の財源の確保

しかし、見逃せない部分もあり、当然ありますので、今この段階で、何か結論ありきというようなことは絶対あってはならず、被害の実態に合った柔軟かつ誠意ある対応をしっかりと求めています。

原発等 特別委員会

平成27年6月9日に開催した特別委員会で、汚染水移送時に耐圧ホースから汚染水が漏えいしていた問題について、事故の発生原因と対応について説明を受けました。

また、営業損害に対する2カ年一括賠償(案)や今後示される第5次追補を受けて、現時点での東京電力(株)の賠償に対する考え方について説明を受けました。

汚染水漏えい事故発生の原因と対策

【原因】
当該ホース(ポリ塩化ビニル製耐圧ホース)は、平成25年10月に設置した後、経年劣化及び屈曲状態により局部的にホースが伸ばされて開口したと推定される。

【対策】
より耐久性の高いポリエチレン管への取り換え工事を速やかに進める。ホースの全線点検を実施する。

問 取り換えるポリレン管の耐久性は。

答 東京電力(株) ポリエチレン管は、1Sv/hの高放射線状況下で22年間の耐久性を持つと評価されていますので、少なくとも数年間の使用には耐えうると考えます。

問 ホースの漏えい点検はどの程度の頻度で行うか。

答 東京電力(株) 汚染水を移送する前後で、漏えいがないか十分な点検、確認を行います。

問 配管の交換工事はいつから行う予定か。

答 東京電力(株) 現時点では開始の時期は決まっています。干渉する工事との調整と人員の手配が済み次第、速やかに工事に着手します。当然工事が完了するまでは配管への通水は行いません。

問 専門的な知識・資格を持つ作業員をしっかりと配置する考えは。

答 東京電力(株) 作業員の配置に関する管理面での不行き届きは重く受け止めています。今後、内部での意識統一を図るとともに、しっかりと管理していきます。

賠償に対する 東京電力の考え

問 賠償に合意されていない方については、さらに丁寧な対応が必要では。

答 東京電力(株) 賠償に対してベテランの職員を配置するなど、最後の一人まで丁寧に賠償するという会社の方針を貫いていきます。

問 様々な事情で事業が再開できない事業者に対する対策は。

答 東京電力(株) 政府が示す第5次提言に基づいて、至急検討します。事業をされていた方、8千社に対して個別に訪問し、今後の事業方針について丁寧にヒアリングを行う予定です。



東京電力の考えを問う

産業復興常任委員会

Q 町内に整備する公設商業施設の方向性は。

A 建設する商業施設は公設民営の方針で進めていきます。本年度は施設の規模や業種、形態等の調査を行います。併せて、商工会を通じて地元の事業者にも町内での事業再開についての意向調査を行う予定です。

【産業振興課】

Q 新たに開設される富岡町内の連絡所の概要は。

A 6号国道沿いの回転すし店舗駐車場内に100㎡程度のプレハブを建設する予定です。施設内に水洗トイレ、ウォーターサーバ、除染状況等が確認できる掲示板を設置し、町内に一時帰宅した町民が気軽に立ち寄り、休憩できる環境を整えます。20台程度の駐車スペースを確保します。

【生活支援課】

Q 農地除染が進まない理由は。

A 檜葉町から客土材が搬入できないため、檜葉町の山砂と類似した客土材を、久の浜、二本松市、宮城県丸森町の3か所から搬入することに同意したところです。

【農業委員会】

Q 家屋の解体の進捗状況は。

A 26年度の解体実績は25件と大変少ない件数です。環境省が示した年間300件の解体目標を遵守させるよう町として強く要望していきます。

【安全対策課】

総務常任委員会

Q 富岡町内の既存の町営住宅は今後どうするのか。

A 現在、各町営住宅を調査しています。その結果によって、修繕するか、取り壊すかを検討していきたいと考えます。

その際には、これまで入居していた方の心情も考慮し、アンケートや電話連絡等で意向を確認したいと考えます。

【総務課】

Q 仮設住宅に入居している方の今後の方向性について、把握できているか。

A 個別訪問等で丁寧に聞き取りし、本年12月末までには全入居者の意向を確認したいと考えています。

【総務課・いわき支所】

Q 今後、富岡町内の土地等の売買が増えることが予想されるが、町としての対策は。

A 民間での土地等の売買には制限はかけられないのが現状です。今後、先行して帰還する自治体等から情報収集し、状況の把握に努めます。

【税務課】

Q マイナンバー制度の利便性は。

A カードの交付(希望者)を受ければ、コンビニで住民票や印鑑証明等が取得できます。

Q 安全対策が必要では。

A カードにはパスワードが設定され、本人しか使用できないようになります。万が一紛失した場合は、カードの管理会社に連絡することで利用を停止することができます。

【住民課】

常任委員会とは、本会議前に各課の事務の執行状況それぞれの常任委員会が調査し、議案などを事前に審査したり、などを調査する場です。その調査した主な事業について報告します。

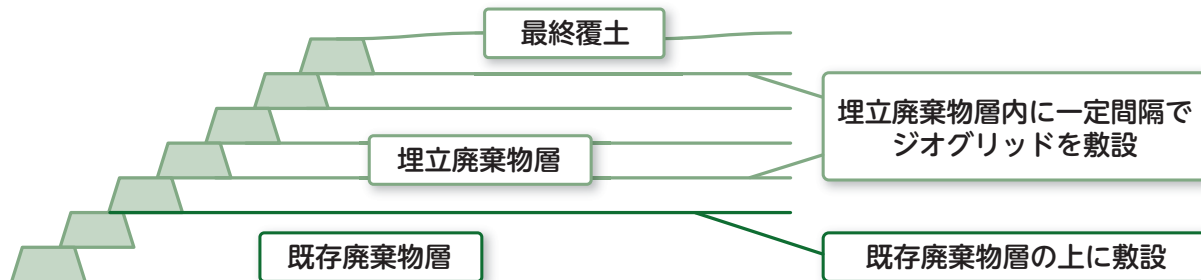
管理型処分場に対する 国の方針を問う 特集

安全・安心の確保

◆提出していた意見 安全に埋立処分が行われるか不安がある。

◆回答

- 廃棄物層の補強対策(ジオグリッドの敷設)を行います。
- モニタリング地点、項目を追加します。地域住民参加によるモニタリングを実施します。
- 運搬時の飛散防止対策を実施します。住宅街、商店街や通学路等を極力避けて運搬します。



※ジオグリッドは高分子材料で形成された格子構造からなるシート状の製品
 ※敷設により、すべり破壊の防止や不等沈下の抑制等が期待できる

地域振興策の提示

◆提出していた意見 風評被害の懸念や帰還意欲の阻害に対応するため、地域振興策を示してほしい。

◆回答

- 既存の管理型処分場の活用に伴う影響を緩和するために必要な幅広い事業を実施可能とするため、極めて自由度の高い交付金を措置します。

平成27年6月9日に開催した全員協議会で、管理型処分場に対する国の方針について、説明を受けました。

国は福島県・富岡町に対して、県内で出た1キロ当たり10万ベクレル以下の放射性廃棄物等を町内の管理型処分場で最終埋立処分するよう要請しています。

これまで4回の全員協議会、県内外6カ所の住民説明会で議論されたこの問題について、新たな国の方針が示されました。

管理型処分場への埋立計画に対して国が示した主な方針は次の3点です。

- ・既存のフクシマエコテッククリーンセンターを国有化することで、国の責任をさらに明確にします。
- ・廃棄物層の補強やモニタリング地点の追加など、さらなる安全対策に努めます。
- ・町民の帰還意欲の阻害や風評被害が懸念されることから、懸念を払拭するために使える新規の交付金を創設します。

国有化による国の責任の明確化

◆提出していた意見 本埋立処分事業は長期にわたって管理が必要なものであり、処分場を国有化すべきではないか。

◆回答

- 本事業は特措法に基づき国事務として行うものであり、国が事業主体となって最後まで責任を持って実施します。
- 本事業に対する一層の安心の確保も重要であると考え、処分場を国有化します。
- 処分場敷地内に環境省の現地事務所を開設し、現場責任者を常駐させるなど、事業の執行・指揮監督を確実にを行う体制を整備します。

議員の意見

安全・安心が確保できるのか

【廃棄物を野積みする方式では安全が担保できない】

「コンクリート遮へい型保管」や「屋根建設」はできないか。

問 コンクリート遮へい構造の建物を建設し、その中に保管する方法はとれないか。

答 環境省

保管容量が1万㎡のコンクリート遮へい構造の処分場を建設するためには、2〜3haの土地面積が必要になります。福島県で発生した65万㎡という大量の放射性廃棄物を安全に早急に埋め立てるためには、土地及び時間的な問題から対応は困難であると考えます。

問 野積みの放射性廃棄物層の上に、雨水の流入を防ぐための屋根をかけることはできないか。

答 環境省

雨水の流入を防ぐために、作業する場所以外はシートで覆います。また雨水が流入したとしても、廃棄物層の間に水を通しにくい層を設けることで、極力廃棄物と触れないようにして排出させます。このような措置を講ずること、屋根をかけることなく安全は担保できると考えます。

【国有化は評価する】

「いつまで」「どういう状態になったら」という基準が必要では。

問 「国が事業主体となって最後まで責任をもって管理する」とあるが、「最後」というのはどういう状態を指すのか。

答 環境省

モニタリングを実施していく中で放射能濃度が十分に下がったと確認できるまで、ずっと管理していくということですが。

問 住民が求める安心のためにはある程度の数値目標が必要だと思いが。

答 環境省

現時点では管理終了の数値的な基準というのは決めていません。今後、そういうことも含めて、地域住民の皆様と協議していくものであると考えています。

ただ、一つの指標として、指定廃棄物は放射能濃度が8千ベクレル〜10万ベクレルという基準があります。少なくとも、埋立廃棄物が8千ベクレルを下回らない状態の間は何十年でも管理を続けていくという考えです。

問 国有化に当たって、どういった事業運営をしていく考えか。

答 環境省

現地に事務所を開設し、国が直轄で事業を行う考えです。埋立処分、運搬、モニタリング調査などの実際の作業については、公募によりそれぞれの業務を各事業者が委託しますが、責任者を置き、国がしっかりと管理します。

【交付金が管理型処分場受け入れの要件になってはならない】

地域振興策も必要だが、安全・安心を担保することが大前提では。

問 地域振興策としての交付金が、管理型処分場受け入れの要件になってはならないと思いが。

答 環境省

埋立処分の安全対策に万全を期しても、住民の皆さまの不安や風評被害、帰還意欲の阻害などには、国として何らかの対処をいかななくてはならないと考えています。

その一つの方策として、風評被害等の課題を緩和できるような様々な事業を実施するために使える交付金の措置が必要であると考えます。

決して交付金の措置を条件に管理型処分場受け入れを求める訳ではありません。

住民説明会開催

安全性に不安 反対の声、相次ぐ

平成27年6月27日・28日の両日、郡山市といわき市で環境省主催の住民説明会が開かれました。

説明会に出席した町民からは「町内でも線量の低い場所が最終処分場になるのは、今後の帰還や復興の妨げになる」との意見が多く聞かれました。議会として、町民の皆さまの声、施設の安全性、国から示される地域振興策等、様々な要件を精査し、今後も町に適切な判断をするよう求めていきます。



町民から多くの意見が飛び(郡山市)

除去土壌の輸送は安全か 検証

【万が一の事故対応の体制】

- 環境省:いわき市内
 - 元請け事業者 清水・熊谷JV:大熊町内
 - 重機(クレーン車、バキュームカー、ダンプ等):大熊町内及び富岡町除染現場
 - 輸送車両のパンクや転倒等の対応:高萩自動車工業(いわき市内)
- ※その他、消防、警察と連絡を取り対応。環境省より、福島県、富岡町に連絡。

《事故時の対応》

【輸送車両がパンクした時】

- 高萩自動車工業に応援依頼
- レッカー車のクレーン機能を用いて、別のトラックにフレコンを積み替え、輸送を再開。パンク車両は牽引して修理工場へ。

【輸送車両が転倒した時】

- 関係各所に連絡・通報
 - 高萩自動車工業に応援依頼
 - レッカー車のウインチ機能、クレーン機能で車両を引き起こし、牽引して修理工場へ。
- ※適宜、交通誘導を行う。

《誘導員の配置》

【JR高架下付近に2名配置】

輸送車両がJR高架下前を通過時に、反対車線に大型車両が来た際、輸送車両を徐行、または一旦停止するように誘導する。

【宝泉寺分院付近の歩道に1名配置】

輸送車両と一般車の接触を防止するために、通行車両に徐行を促す。
また、万が一の事故の際に早期に発見し、関係各所に連絡する。

結果

議会は、上記の対策を徹底することを条件に試験輸送を了承しました。現在のところ、事故はありませんが、今後も更なる安全の確保を国に強く求めています。

《除去土壌散乱時の対応》

- 通報・連絡
警察・消防・元請け業者・環境省等に連絡
- 交通規制と誘導
- 現場復旧
 - 影響範囲の確認
空間線量率、表面汚染密度を計測。
 - 散乱した土壌等の回収
必要に応じて、バキュームカーを使用。
 - 現場復旧状況の確認、交通規制の解除
空間線量率等を計測。周辺と同程度まで線量が下がったのを確認し、交通規制を解除。

《迂回路の設定》

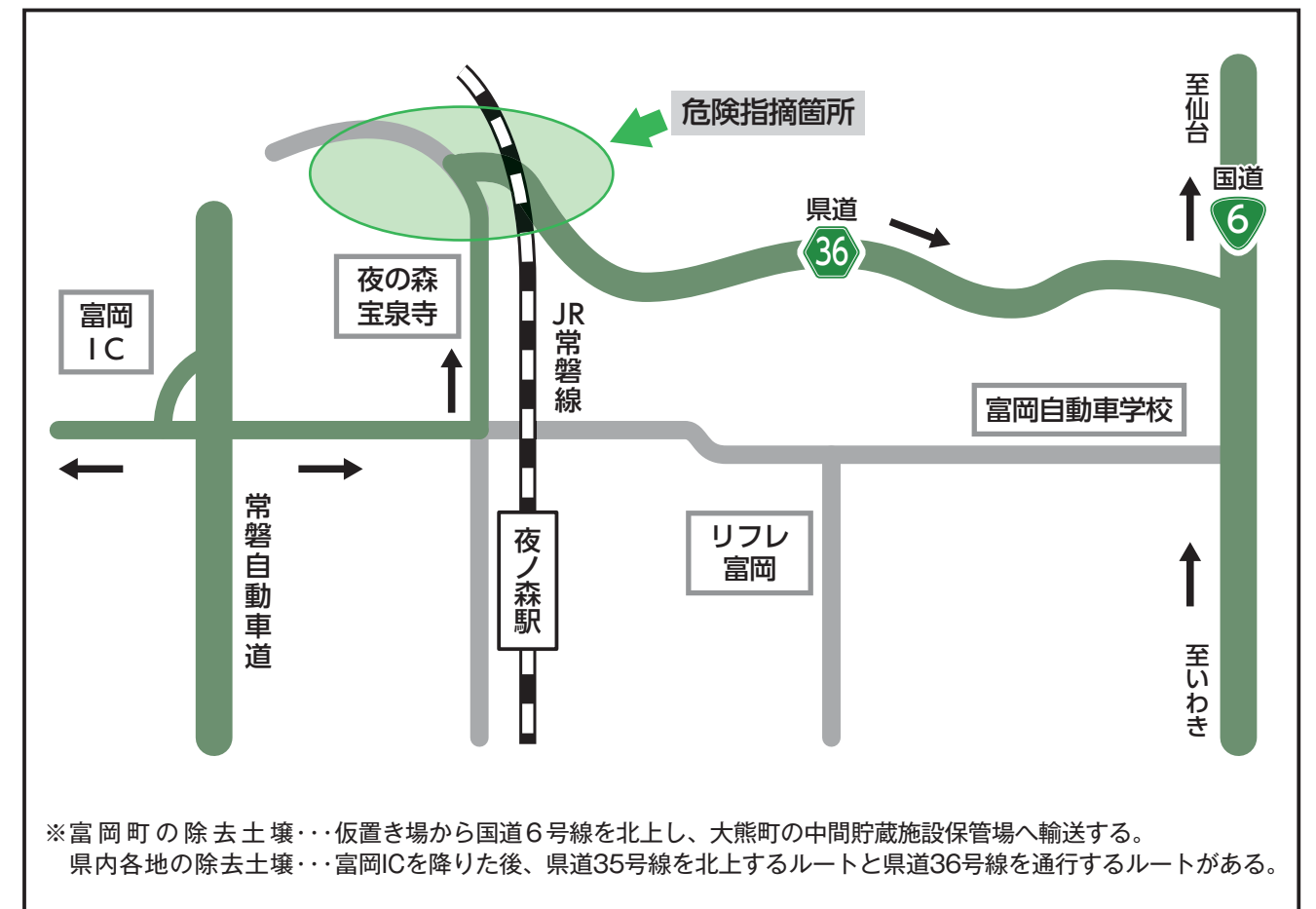
【現状】

帰還困難区域内の県道36号線は、約4000台が24時間通行している。

【対策】

県道36号線より北側は帰還困難区域であり、迂回路として利用できないため、南側の道路を迂回路として利用する。
今後、県・富岡町・関係機関と道路状況や工事状況等を踏まえて協議、調整する。

平成27年4月21日に全員協議会を開催し、他市町村で除染に伴い生じた土壌を中間貯蔵施設予定地内の保管場へ試験輸送する計画案について、環境省より説明を受けました。議員からは安全対策に対する説明が不十分であるとの意見が相次ぎ、万が一の事故の際のさらなる対応策の検討を国に求めました。



JR高架下の県道36号線は鋭角にカーブしており、見通しも悪いいため事故発生の危険がある

復興へのあゆみ

Step.3

昨年各地で開催した意見交換会や様々な『富岡町から遠く離れた土地で長く避難生活を送っていると、皆様の先が見えない不安を私たち編集委員が現地に行き、

イベント等で、町民の方から多く聞かれるのは『富岡町が今どうなっているのかわからない』という声です。少しでも解消できるように、富岡町の現状をお伝えします。

4 富岡町営野球場



高く積み重ねられていたフレコンバックは、小良ヶ浜の仮置き場に順次、移送されています。その後、5月26日から開始された除去土壌の試験輸送により、大熊町の保管場への搬入が開始しています。



空間線量 0.43 μ Sv/h

(平成27年7月7日 現在の状況)



1 シャープ富岡太陽光発電所(富岡工業団地内)



空間線量 0.38 μ Sv/h

年間予測発電量は約238万kWh。一般家庭の約663世帯分に相当します。7月13日に竣工式が行われ、既に稼働しています。

2 田中スタンド(小浜中央)



ふるさとで
事業を再開

給油する車は途切れることはありません。

3 鈴屋金物(中央1丁目)



除染作業員から営業の再開を喜ばれています。

ちよとひとと

みなさまの声

6月17日に改正公職選挙法が国会で成立し、6月19日に公布されました。公布から1年が過ぎた(来年)国政選挙から順次適用され、18歳から投票できるようになります。そこで、震災時は富岡町の小学生・中学生だったみなさんに、初めての選挙について思うことを聞いてみました。

- ① 18歳から投票できる事についてどう思いますか？
- ② 初めての選挙で投票に行きますか？
- ③ 投票する候補者をどのように(何を基準に)決めようと思いますか？

- ① 18歳から投票できるというのは少し早いと思うけど、もっと若い人の意見も取り入れられるということではいいと思う。
- ② いい機会なので行ってみたい。
- ③ 掲げる政策などの考えがしっかりしていて、自分の中で納得ができるようなところを基準に決めようと思う。



加藤 凌君
(王塚 震災時二中1年)



石井 悠斗君
(新夜の森 震災時二中1年)

- ① 社会の一員と認められるという部分では嬉しいが、投票数が年々減っているのだから、この制度をきっかけに有権者は投票して欲しいと思う。
- ② 行きたい。
- ③ しっかりとその人の姿勢などを把握して、自分の考えと同じような考えを持っている人に票を入れたい。候補者は、発言したことは最後までしっかり実行して欲しいと思う。

- ① 今まではニュースを見て色々考えることがあってもそれを示す方法がなかったから、少しでも早く政治に参加できるのはいいことだと思う。
- ② 行く(投票権があるなら絶対に行くべきだと思うから)
- ③ 実現できるような現実的なマニフェストを掲げている人。



堀本 亜美さん
(王塚 震災時二小6年)

- 発行責任者 議長 塚野芳美
- 議会報編集特別委員会 委員長 高野 泰
- 副委員長 堀本典明
- 委員 早川恒久
- 委員 遠藤一善
- 委員 山本育男
- 委員 渡辺英博

女子ワールドカップカナダ大会において、なでしこジャパンが見事準優勝しました。世界の強豪を相手にどんなプレッシャーにも、ピンチにも負けず、最後まで決してあきらめない精神で戦い抜いた姿は、多くの日本人に勇気と感動を与えました。

さて、六月定例会で災害復興計画(第二次)を可決しました。復興にはいくつかのハードルがありますが、運動云(表紙)で躍動している子どもたちのために、なでしこ精神で臨むならば、必ず良い結果になると思います。

(渡辺 英博)



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。



富岡町公式ホームページ



富岡町

で 検索